

平成24年度事業報告

(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

一般社団法人 日本野球機構

《公益目的事業（野球振興事業）》

（１）趣旨（目的）

本事業の目的は、野球が我が国の社会的な公共財であるとの認識の下、これを普及して国民生活の明朗化と文化的教養の向上をはかるとともに、野球事業の推進を通してスポーツの発展に寄与し、我が国の繁栄と国際親善に貢献することである。下記業務は、いずれもこの共通の目的を達成する手段であり、本事業目的の達成に向けてこれら活動を一体的に運営し、来年度も引き続き同様の事業を行う。

（２）事業

【育成指導】青少年の野球に関する関心を高めるための各種育成活動のほか、野球指導者、審判員の育成および若手野球選手育成のための活動

①青少年向けの育成活動

- ・プロ野球選手によるシンポジウム「夢の向こうに」
平成24年（2012年）12月8日（土）
鳥取県米子市の米子産業体育館で開催（鳥取県内455名が参加）
※2012年1月21日（土）宮崎に続き、テストケースとして現役選手、高校生がともにユニホームと着用し実技指導を行う。
- ・NPB12球団ジュニアトーナメントENEOSCUP2012
2012年12月27日から29日まで札幌ドームで開催。
- ・NPBガールズトーナメント
各都道府県より30チーム、約600人が参加。
2012年8月17日に東京ドームで開会式を行い、都内3会場で21日までの4日間開催。
- ・NPB CUP選抜学童軟式野球大会
2013年8月31日、9月23日に開催
- ・「ベースボール型スポーツ」指導者講習会
2013年8月7日に福島・あずま球場で実施
- ・東日本大震災復興支援
復興支援作業部会で計画を立案。
岩手県陸前高田市に投光器12台を寄贈し、7月6日に当地で野球教室を開催。
岩手県大船渡市に移動式フェンス300台を寄贈し、7月7日に当地で野球教室を開催
福島県川内村で、8月14日に「ベースボールフェスタ in 福島」

を開催。
福島県南相馬市で、8月31日に野球教室を開催。

②若手野球選手育成活動

- ・みやぎフェニックス・リーグ
2012年10月8日から同29日、宮崎県内の球場で開催。
12球団ファームチームのほかに韓国KBOチーム、独立リーグを加えた16チームが参加した。
- ・新人選手研修会
2013年3月4日に12球団新人選手を対象に実施

③アンチ・ドーピング活動

- ・NPBアンチ・ドーピング選手手帳2013の制作、配布
- ・ドーピング検査の実施
2012年10月に行われたクライマックス・シリーズ、日本シリーズで12検体
2013年2月～3月にWBC日本代表チームで33検体
2013年公式戦で52検体

【表彰支援】

① プロ野球コンベンション

2012年11月21日にグランドプリンスホテル新高輪で開催。
記者投票による2012年シーズンのMVP、新人王、ベストナインのほか打撃部門、投手部門のタイトルホルダーおよび正力賞、沢村賞を表彰した。ファーム部門の表彰も併せて実施。アマチュア女子日本代表チームを特別表彰。

【助成】 野球振興のための公益団体、公共施設への助成金の交付

- ① 成金を交付する野球または野球を含むスポーツの振興またはその援助を目的とする公益的団体
 - ・公益社団法人全国野球振興会（プロ野球OBクラブ）
 - ・公益財団法人日本野球連盟
 - ・NPO法人アオダモ資源育成の会
 - ・NPO法人日本女子野球協会
- ②助成金を交付する野球に関する博物館、図書館等の公共施設

- ・公益財団法人野球殿堂博物館

《収益事業等（野球奨励促進事業）》

【野球試合日程の編成および審判】

以下の2013年シーズン試合日程を編成するとともに、当該試合に各球団からの請負契約に基づき、NPB契約審判員を派遣（日本選手権シリーズ、ファーム日本選手権およびフレッシュ・オールスターゲームは当法人の主催試合）

- ・セントラル野球連盟年度連盟選手権試合
- ・パシフィック野球連盟年度連盟選手権試合
- ・オールスターゲーム
- ・日本選手権シリーズ
- ・イースタン・リーグ年度選手権試合
- ・ウエスタン・リーグ年度選手権試合
- ・非公式試合（教育リーグを含む）
- ・フレッシュ・オールスターゲーム
- ・ファーム日本選手権
- ・みやざきフェニックス・リーグ

【野球試合の主催および開催支援】

①野球試合の主催

- ・ファーム日本選手権
2012年10月6日に松山市・坊ちゃんスタジアムで実施
- ・日本選手権シリーズ
2012年10月27日（土）から11月4日（日）の間、読売巨人軍と日本ハムファイターズ両チームの本拠地、東京ドーム及び札幌ドームで開催した。
入場者数 252,885 名
入場料収入 1,274,300,500 円
テレビ・ラジオ放送料収入 550,872,000 円
- ・フレッシュ・オールスターゲーム
2013年7月18日に秋田県立野球場（こまちスタジアム）で開催

② 野球試合の開催支援

- ・オールスターゲーム（12球団共催、運営受託）
2013年7月19日（金）札幌ドーム、20日（土）明治神宮球場、22日（月）いわきグリーンスタジアムで開催。

【野球規則の制定および野球技術の研究】

- ・野球協約2013を編集作成
- ・両リーグアグリーメントを編集作成
- ・野球規則委員会においてプロ、アマ合同でルール研究会を実施
- ・2013年公認野球規則の編集および発行
- ・公式戦使用球の検査実施
- ・折損バットの調査を継続実施

【野球選手、監督および審判の養成】

- ・学生野球資格回復へ向けての研修会
2013年7月28日、8月10日に東京で開催
- ・NPBプロ審判員自主トレの開催
2013年1月25日－27日明治神宮球場
2月1日－3日甲子園

【野球選手、監督、審判および野球関係者の表彰、それらの者のための養老厚生事業ならびに職業紹介事業の実施】

①養老厚生事業

- ・退団選手一時金制度の実施
- ・監督、コーチ、選手の国民年金基金への加入に関して、12球団と協力して加入促進活動と基金への申込取次を実施

②職業紹介事業（セカンドキャリアサポート）

- ・キャンプでの説明会およびアンケートの実施
- ・退団者への職業斡旋および実態調査
- ・セカンドキャリアサポートマガジン「NEW BALL」の編集および発行

【会員間の連絡、親善】

- ・新人選手選択会議（ドラフト会議）を2012年10月25日に開催。併せて育成選手ドラフト実施。
- ・12球団役職員名簿の制作、配布

【野球に関する国際的な連絡および事業の実施】

・五輪復帰活動

2013年9月5 - 9日で国際オリンピック委員会（I O C）総会前日の「世界野球ソフトボール連盟（W B S C）」記者会見に加藤前会長が出席し、野球・ソフトボールの五輪競技復活を訴えた。

【その他目的を達成するために必要な事業】

① 公式記録の作成、管理および運用

- ・記録員を、セントラル野球連盟年度連盟選手権試合（交流戦、クライマックスシリーズを含む）、パシフィック野球連盟年度連盟選手権試合（交流戦、クライマックスシリーズを含む）、オールスターゲーム、日本選手権シリーズ、ファーム公式戦（イースタン・リーグおよびウエスタン・リーグ）、フレッシュ・オールスターゲーム、ファーム日本選手権の試合に各球団との請負契約に基づき、派遣して公式記録を作成した。（日本選手権シリーズ、ファーム日本選手権およびフレッシュ・オールスターゲームは、当法人の主催試合）
- ・公式記録はベースボール・インフォメーション・システム（BIS）で処理し、データベース化して検索サービスを提供、ほかに速報記録等をメディアに配信した。

② プロ野球に関する出版物の発行

- ・オフィシャルベースボールガイド2013
- ・グリーンブック2013（セントラル野球連盟ガイドブック）
- ・ブルーブック2013（パシフィック野球連盟ガイドブック）
- ・イースタン・リーグ観戦ガイド

③ プロ野球に関する情報サービス

- ・プロ野球に関する情報サービスの活動の一環として、12球団ニュース、NPBニュースおよびプロ野球に関する情報サービスをNPB公式サイトで実施
- ・携帯電話への文字情報による公式戦等の速報記録等の情報を提供

④ 侍ジャパン事業

- ・2013年5月16日に野球日本代表「結束」、そして「世界最強」を合言葉にプロアマ融合の野球日本代表マーケティング委員会（J B

MC) を設立。

- ・ 2013年8月、12U、15U、18U野球日本代表のスポンサーシップをJBMCが導入。

⑤ グリーンベースボール・プロジェクト事業

- ・ グリーンリストバンド販売収益による植林活動寄付
- ・ 公式戦平均試合時間3時間超過分のカーボンオフセット排出権購入

⑥ 暴排活動

- ・ 2012年10月17日にみやぎフェニックス・リーグ参加若手選手を対象に暴排講習を実施。
- ・ 2013年1月24日、7月5日にプロ野球暴力団等排除対策協議会・中央協議会を開催。

《組織・会議》

* 定時社員総会

- ・ 2012年11月30日開催
自2011年10月1日～至2012年9月30日、(社)日本野球機構決算報告および事業報告を承認。

* 臨時社員総会

- ・ 2013年4月5日 (みなし決議)
理事交代に関する件
株式会社 中日ドラゴンズ 旧理事・佐藤良平から新理事・井手峻への交代を承認
- ・ 2013年9月19日開催
自2013年10月1日～至2014年9月30日、(一社)日本野球機構収支予算案および事業計画案を承認。
監事退任に関する件
旧社団法人日本野球機構監事の衣笠剛、居郷肇両氏の監事退任を承認。

* 理事会

理事会16回開催 (みなし決議2回を含む)

* その他の会議

オーナー会議3回、実行委員会10回、その他各種委員会を随時開催。

以上